

ユニセフセミナー大阪 2016

世界の子どもたちは幸せか—想像する力を養う



貧困や紛争、自然災害などによって命の危険にさらされ、安全や安心から取り残された人びとの厳しい状況を、遠い世界で起っていること、自分には関係のないことと思いませんか。彼らがその境遇にあるのは、たまたまそこに生まれたという偶然によるもの。あなたと同じように、将来に希望をもって生きていきたいと望んでいるのです。

私たちが世界の課題と向き合うために、彼らの苦しみを想像し、誰かと語り合うことが必要です。それが体験となり、より良い未来

を考えることにつながるのではないのでしょうか。セミナーでは、皆さんと一緒に想像する力を養う大切さを考えます。

写真はシリアからトルコへ逃れる途中、地雷で足を失ってしまった少年と父親。倉庫に身を寄せている。撮影：川畑嘉文

8月20日（土）12：00～16：30

（受付開始 11：30～ 昼食は済ませてお越しください）

【会場】 大阪中央公会堂 大会議室（〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-27）

地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車①番出口から徒歩5分

【定員】 80名（定員になり次第、締め切ります） 【参加費】無料

【申込】 大阪ユニセフ協会へ電話、FAX、メール

プログラム

1. 基調講演「写真の向こう側にある世界」川畑嘉文（フォトジャーナリスト）



報道のカメラがとらえた子どもたちはどんな表情を見せたのか。

アメリカペンシルバニア州立大学卒業。専攻は国際政治。ニューヨークの出版社、東京の撮影事務所勤務を経てフリーのフォトジャーナリストとなり、世界各地を訪問。2011年、「地雷原の女性たち」がJRPリアリズム写真集団主宰コンテスト「視点」に入選。2014年、5枚組写真「シリア難民の子どもたち」でJPS日本写真家協会主宰コンテストの金賞を受賞。著書に『フォトジャーナリストが見た世界』（2014、新評論）

2. ボランティアによるユニセフ活動報告①②

3. 大阪府立松原高等学校2年生の発表「高校生の平和学習」

4. ワークショップ「フォトランゲージ：世界の課題と向き合おう」